

## 重要案件について臨時議会を開催

第230回加西市議会臨時議会が2月7日（日）に市民会館文化ホールで開催され、会場を訪れた約280人の市民の皆様が約8時間にわたる議会審議を傍聴されました。

臨時議会では下記の5議案を市長提案し、うち1議案が当日採決、他の4議案は委員会付託となり後日、審議されることになりました。

（なお、この頁は2月8日に作成しているため、4議案の採決結果は掲載できませんので、来月の広報がさいでお知らせします）



### ■臨時議会を開催して

土日休日や平日夜間の議会開催については、前々から複数の議員から提案があったものであり、日頃は議会を傍聴できない市民の皆様にも配慮させていただきました。多くの市民の皆様、に執行者と議会のやり取りなどをご覧いただき、教育問題ははじめ加西が直面する数々の重要な政策課題について関心をもっていただき、市政と一緒に考える政治参加の機会としていただきたいと思います。臨時会を開催しました。

これまで何度も否決された条例案を、なぜ臨時会を開いてまで再度提案するのかと思われる向きもあるでしょうが、特に急ぐものについては、是非とも年度内に成立させ、新年度4月当初から執行したいと考えたからです。そもそも議会が通年で開かれていれば、臨時会を開催するまでもないことです。

現在の加西市には、解決すべき重要課題が山積しており、さらなる行財政改革を進めるには、前倒しで取り組む必要があります。多くの改革派首長は、過去3回も5回も否決された議案でも提案し、市民から見える公開の場で、議会と向き合い議論を重ねて改革を進めており、この点、加西市も全く同様です。

これまで否決された議案の多くは、会派の思惑が働いたり、市政の現状についての認識に相当開きがあったことなどから、合理的な理由なしにあるいは本当の理由を隠して否決されたものと受け止めています。以前は反対された議員もその後の、他の自治体の事例なども参考にされ、多くの市民の意見も聞かれたりして、否決された当初の議員の判断に変化があってもおかしくないし、市民本位で考えていただければ結論は自ずと違ってくると思います。

市財政の現状や山積する行政課題を見れば、改革を先送りできないことは明らかであり、再三否決されるなら議会として対案を出していただくべきでしょう。ただ反対だけでは問題解決になりません。

全ての議会審議は、舞台裏での不透明な事前調整をせずに、衆人環視の中でオープンに行われるべきで、議案を審議する前から、会派毎に賛成・反対が既に決まっているようでは、議会が形骸化していると言わざるを得ません。

なお、昨年6月以来、大事な教育委員が1名空席のままであり、学校問題等、重要な教育行政課題に対処してもらうためにも早く任命したかったものです。今年は特に教育問題に精力的に取り組もうとしている矢先、その根幹を担う教育委員の選任について再度不同意となったことは誠に残念です。三顧の礼をもってお迎えするべきお方に対して、全うな価値判断がなされなかったのは大変遺憾です。

特色があって質の高い教育が提供できれば、加西市の人口増や定住促進に繋がります。また多様な人材を育てることが、地域力と市民力の向上にもなります。教育委員人事を政争の具にはいけません。（市長）

### ■議案第1号 加西市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（賛成7、反対10で不同意）

兵庫教育大学の笠沙知章准教授（教育学）に教育委員になっていただくために同意を求めました。「加西市の未来の学校づくり検討委員会」と「加西市教育委員会評価委員会」の委員長を務め、教育についての情熱と識見をお持ちの方です。

### ■議案第2号 加西市職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について

社会福祉協議会、加古川西部土地改良区、北条鉄道、加西北条都市開発など、公益法人や市の関連団体等に職員の派遣を可能とするもので、その運営をサポートするとともに、相互連携を強化して活性化を図ろうとするものです。

### ■議案第3号 加西市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について

職員数の絶対数が減少する中、市長や副市長の仕事は目一杯の状態が過去4年以上にわたり慢性的に続いています。山積する重要な政策課題に前倒しで取り組めるよう、必要に応じて副市長を2人置くことができる条例を予め定めておくものです。

### ■議案第4号 加西市開発調整条例の制定について

市内の開発や建築が不適切に行われていても、加西市には根拠条例がないために指導できないケースが多々あります。事業者や近隣住民とのため事とならないように、また行政が恣意的に規制や指導を行わないよう条例を定めるものです。

### ■議案第5号 指定管理者の指定について（オークタウン加西）

オークタウン加西の管理運営を民間業者に任せ、サービス向上と運営の効率化を図ろうとするものです。民間事業者も以前からの地元雇用は守るとしており、また地元にも了承していただいたので、4月から指定管理に移行させるものです。

## 市政の最重要テーマ「教育問題」の解決に向けて

加西市の教育はいま多くの課題を抱え、その解決を迫られています。中川市長も、今年の市政の最重要課題は「教育」であると明言しています。

こうした状況にあるにも拘わらず、教育行政の根幹である教育委員の選任について、昨年6月議会の不同意だけでなく、新たな候補者についても、昨年の9月議会に引き続き、2月7日の臨時議会で再度不同意されたことはとても残念です。

兵庫教育大学准教授の笠沙知章（ちくさともあき）先生には、平成20年8月から21年3月まで「加西市の未来の学校づくり検討委員会」の委員長、また、昨年2月からは「加西市教育委員会評価委員会」の委員長にご就任いただきました。各々の委員長として中立かつ公正な立場で会議を進められ、報告書もご自分の手でまとめられるなど、優れた識見と手腕を発揮されました。

「教育委員は加西市民から選ぶべき」というのが不同意の中心的な意見でした。しかし、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」、いわゆる「地教行法」には、教育委員は地元の市民でなければと規定されているわけではありません。地域、市域を重視すると同時に広く県や国の動向を見ることも委員にとって必要だと考えられているからです。

笠沙先生は、教育、学術、文化に対する識見や教育の様々な領域での経験は申し分なく、お願いした仕事は責任感、指導力を発揮して進められます。そういうことを知って、是非とも教育委員にと当方からお願いしたのです。

「地域を知らない」という指摘が何度もありました。しかし「地域を知っていること」と「教育の課題を解決すること」とは必ずしも同じではありません。教育の課題を解決するのに最適任の方が、同意を得られたら加西市の教育のために尽力したいと言っておられました。この臨時議会では、そのことが十分に伝わって来ませんでした。

いい教育、いい学校をつくることは市民の願いであり、いま教育委員会は、新しい学習指導要領の本格的定着、特に、児童生徒に、確かな学力、豊かな心、健康と体力、生きる力を身につけさせていくこと、老朽化した校舎の耐震補強や建て替え、学校再編、幼稚園・保育所の民営化、開かれた学校、教育委員会づくりなど教育行政の重要課題への取り組みを進めていかなければなりません。

今回の事態を受けて、教育委員会は、笠沙先生への非礼を深くお詫び申し上げながら、新たな委員候補者の選任を市長にお願いしたところ、「最重要テーマである教育問題に対処できる志と識見の高い人材を公募する」との意向でした。（教育長）

### ■教育委員の公募について

加西の教育のレベルアップ、質向上、老朽施設の建て替え、教育文化の振興など加西市教育行政が抱える重要課題に高い志と情熱をもって取り組んでいただける見識豊かな方を公募します。

任期・報酬 / 4年・年間601,200円

応募方法 / 3月31日（水）までに、履歴書及び課題論文「教育の質向上と教育委員の役割」（2,000字程度）を持参又は郵送してください。

申込・問合先 / 〒675-2395（住所表記不要）総務部総務課（庁舎3階） ☎④8702

## 加西市学校再編・幼保民営化検討委員会の検討状況について

加西市では、平成21年4月に上記委員会（委員長／東郷副市長）を庁内に設置し、学校再編問題、幼保施設問題を多角的に検討してきました。全ての作業については、まだ道半ばですが、特に幼保施設問題については一応の「素案」を取りまとめました。

そこで今回、検討状況の中間的報告として「加西市立幼稚園・保育所統合・民営化基本方針（素案）」及び「公立幼保施設統合・民営化実施計画（素案）」を次のとおり公開いたします。公開資料をご覧ください、ご意見等をお寄せください。

### ■公表資料閲覧場所

教育委員会こども未来課（市役所1階）、市ホームページ、市民会館、各公民館、地域交流センター、図書館で2月25日（木）から閲覧できます。

### ■意見提出方法

住所、氏名、意見を明記の上、郵送、持参、FAX又はEメールで下記までお寄せ下さい。様式は自由です。

【意見提出先】 〒675-2395（住所表記不要）こども未来課 ☎④8726 FAX③1801 kodomo@city.kasai.lg.jp